

海上保安庁における薬物事犯の摘発状況と水際対策について

1 過去5年間の摘発実績

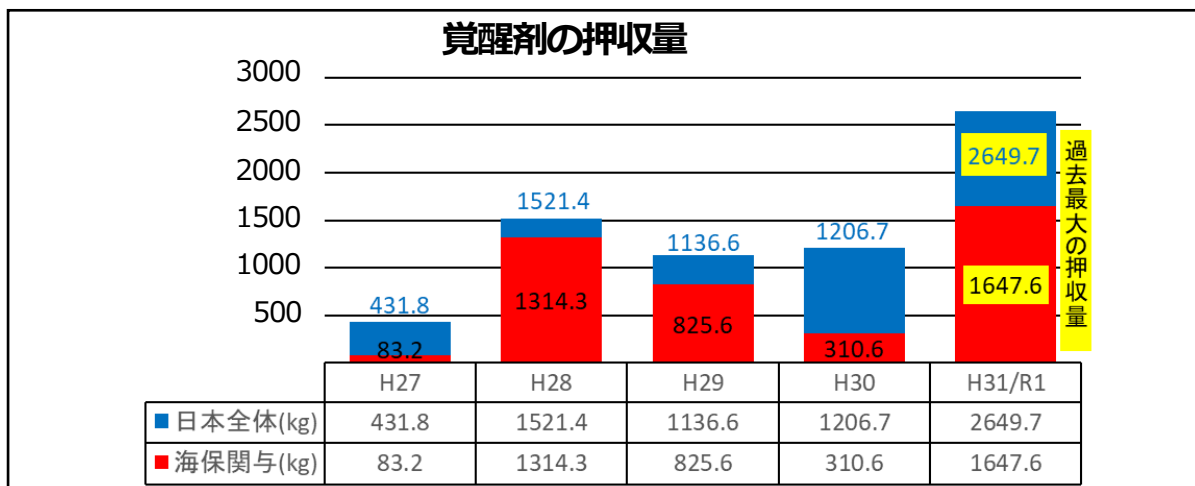
区分		年別				
		平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
摘発件数		7	12	8	15	9
押収量	覚醒剤	83.29kg	1,314.39kg	825.61kg	310.63kg	1,647.67kg
	大麻	0.7g	1.0g	101.9g	23.59g	227.59g
	麻薬	86.39g	646.39g 66錠	71.31kg	115.21kg	577.65kg
	あへん	0	7.95g	0	0	0
	指定薬物	0.52g	0	0	0	0

注：表の数値は、当庁単独又は他機関と合同で摘発したもの。

2 過去5年間の主な摘発事例（洋上瀬取り）

海上からの密輸事犯は、海上コンテナ貨物への隠匿といった手法に加え、小型船舶を利用した瀬取りにより、一度に大量の薬物等を密輸する事犯が相次いで発生しており、海上保安庁では関係省庁と連携し、これら密輸事犯を摘発しています。

過去5年間に摘発した覚醒剤の洋上瀬取りによる密輸事犯は、平成28年2件、平成29年1件、令和元年2件であり、瀬取り事犯を摘発した年の海上レート（当庁関与の摘発分）による覚醒剤押収量は国内押収量全体の約6割から8割を占めています。



注：日本全体の数値は、警察庁、財務省、厚生労働省、海上保安庁（厚生労働省集計）調べの統計値参照。

【平成28年2月 鹿児島県大島郡徳之島町】

- 東シナ海公海上において国籍不詳の船舶から瀬取り
- 暴力団幹部ら7名を逮捕
- 覚醒剤約99kgを押収



【被疑船舶と押収した覚醒剤】

【平成28年5月 沖縄県那覇市】（過去2番目の押収量）

- 東シナ海付近海上において国籍不詳の船舶から瀬取り
- 台湾人ら6名を逮捕
- 覚醒剤約597kgを押収



【被疑船舶と押収した覚醒剤】

【平成29年8月 茨城県ひたちなか市】

- 茨城県沖の日本の排他的経済水域内において
国籍不詳の船舶から瀬取り
- 暴力団幹部・中国人ら21名を逮捕
- 覚醒剤約474kgを押収



【押収した覚醒剤】

【令和元年6月 静岡県賀茂郡南伊豆町】（過去最大の押収量）

- 鳥島南西方沖の日本の排他的経済水域内において
国籍不詳の船舶から瀬取り
- 中国人7名を逮捕
- 覚醒剤約1,018kgを押収



【被疑船舶と積載されていた覚醒剤】

【令和元年12月 熊本県天草市魚貴町】（過去3番目の押収量）

- 東シナ海公海上において国籍不詳の船舶から瀬取り
- 台湾人ら20名を逮捕
- 覚醒剤約587kgを押収



【被疑船舶と押収した覚醒剤】

3 水際対策

- 国内外の関係機関との連携。
- 瀬取りが行われる可能性がある海域の巡視船艇・航空機による監視警戒。
- 薬物仕出地の可能性が高い地域から来航する船舶に対して、重点的な立入検査・監視。